



## 平成28年度亀山市当初予算案について

亀山市は、平成28年度、若者の定住促進を柱とする「亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を始動させるとともに、将来を見据えた中長期戦略となる「第2次亀山市総合計画」を策定いたします。

平成28年度予算につきましては、第1次総合計画の必達及び若者定住促進と新しい自治のしくみの確立に積極果敢に取り組む予算としました。

なお、一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等が盛り込まれた国の平成27年度補正予算の成立により、国の新たな交付金を活用するため、平成27年度事業として地方創生関連事業の前倒しをしています。

さて、一般会計当初予算は208億1,600万円で、前年度比4億1,350万円の増、率にして2.0%の増としました。

歳入については、市税は、固定資産税の伸びにより、前年度比1億4,540万円の増、率にして1.4%増の102億3,840万円を計上しました。また、地方交付税は、市税及び地方消費税交付金の増収のほか合併算定替の段階的縮減などに伴う普通交付税の減により、前年度比3億200万円減の14億1,900万円を計上しました。

次に歳出について、平成28年度に取り組む主な事業として、魅力的な都市空間を目指すため亀山駅周辺整備事業、関の山車会館整備事業に着手するとともに、教育環境の整備として川崎小学校改築事業を実施します。

また、全地区でのまちづくり協議会設立に向け、地域コミュニティのしくみづくり支援事業を実施するほか、若者定住を促進する若者交流推進事業、5月に開催される伊勢志摩サミット推進事業、まち・ひと・しごと創生総合戦略の各事業を展開します。

なお、持続可能な自治体経営を目指し、引き続き行財政改革推進本部会議を中心として、第2次行財政改革大綱及び前期実施計画に掲げた取組を全庁挙げて着実に進め、財政運営の健全性を確保してまいります。